

■ **事業のセールスポイント**：国内有数の安全・安心ICTインフラ基盤による、きめ細やかなIoTサービス提供
見守りカメラをはじめとする多様なIoTデバイスがまちなかに配備、統合データプラットフォーム（FIWARE）も実装され、特に、アセット層及びプラットフォーム層の機能が充実している。今後、かこがわアプリ等のスマートサービスの更なる拡充により、市民のQOLや利便性の向上及び都市機能の強化や都市課題の解決を目指し、デジタル行政を推進していく。

■ 位置図

自然と歴史
にあふれる
東播磨地域
の中核都市



■ 本事業全体の概要

基本理念

誰もが豊かさを享受できる スマートシティ加古川

～「幸せを実感できるまち加古川」の実現に向けて～

■ 基本目標

1 市民のQOLや利便性を向上するサービス

2 都市機能の強化や都市課題の解決

3 デジタル行政の推進

■ 対象区域の概要

名称	加古川市全域
面積	約 138km ²
人口	約 26 万人
世帯	約10万8千世帯

2021年2月1日現在

■ 対象区域のビジョン

<基本理念>

ひと・まち・自然を大切にし
ともにささえはぐくむまちづくり

<将来の都市像>

夢と希望を描き
幸せを実感できるまち 加古川

<基本目標>

- ①心豊かに暮らせるまち
- ②安心して暮らせるまち
- ③活力とにぎわいのあるまち
- ④快適なまち
- ⑤うるおいのあるまち

■ 施策

- ①いつでもどこでもできる
ストレスフリーな行政手続
- ②誰にでもやさしい窓口環境
- ③効果的な情報発信
- ④安心して子育てをできるまち
- ⑤高齢者にやさしいまち
- ⑥GIGAスクールの推進
(デジタル教育)
- ⑦行政情報の見える化

■ 施策

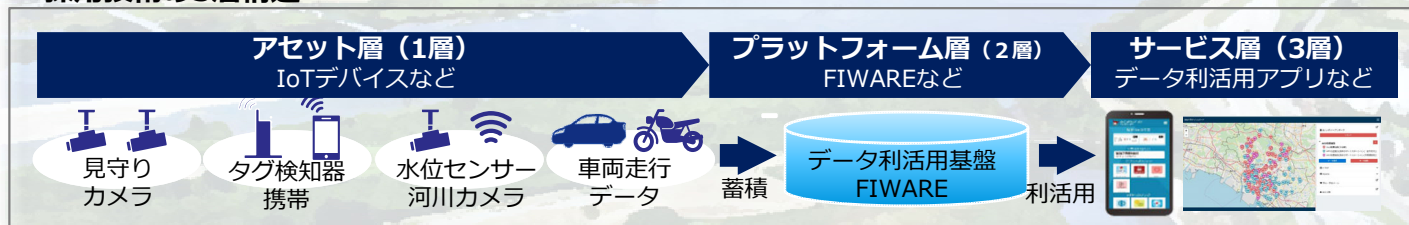
- ①快適に移動できるまち
- ②安全・安心のまち
- ③災害に強いまち
- ④にぎわいのあるまち
- ⑤インフラの整備・メンテナンス

■ 施策

- ①スムーズな窓口対応
- ②最新技術による業務効率化
- ③業務継続を可能とする体制づくり
- ④多様なデータの利活用による
新たな行政サービスの実現
- ⑤スマートシティアーキテクト
の育成



■ 採用技術の3層構造



■ スマートシティの目標(KPI)

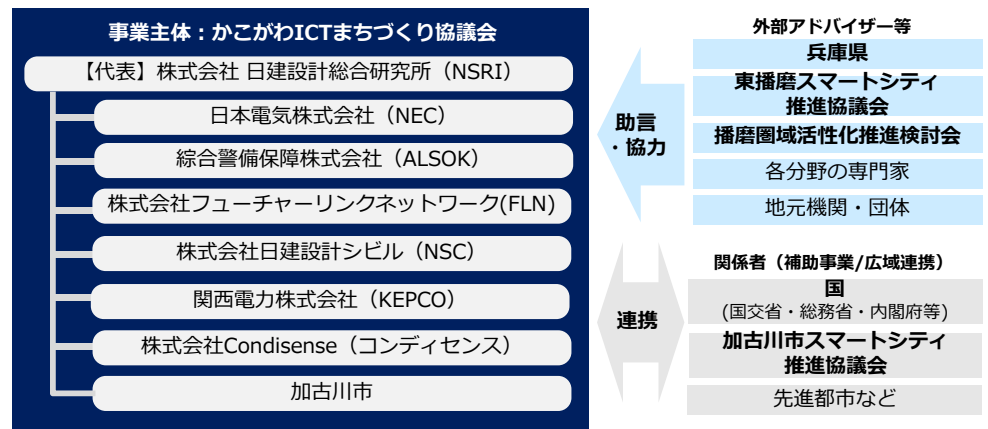
市民参加や情報発信に注力しながら進捗状況を確認していく

施策	評価指標 (KPI) 例	目標値	目標年次
情報発信	3 かこがわアプリのユーザー数	5,000人	2022年度
	4 出前講座や周知広報回数	80件(回)	2022年度
	5 Decidim※の登録者数	1,000人	2022年度
安全安心	6 刑法犯認知件数	1,800件	2026年
	7 交通事故発生件数	1,050件	2026年
防災	8 地域の防災体制への満足度	66.0%	2026年度
賑わい	9 地域ポイントの発行実績 (ボランティアへの参加回数)	15,150,000ポイント	2020年度
データ	10 外部機関,大学,民間企業等とのデータ連携数	25件	2022年度

※Decidim(デシディム)：一般社団法人コード・フォー・ジャパンと協働で開設したオンラインの市民参加型合意形成プラットフォーム

■ 運営体制

協議会メンバーを中心として個別チーム体制を構築し
外部機関・団体などと協力・連携しながら、官民連携で推進



■ 主な導入技術

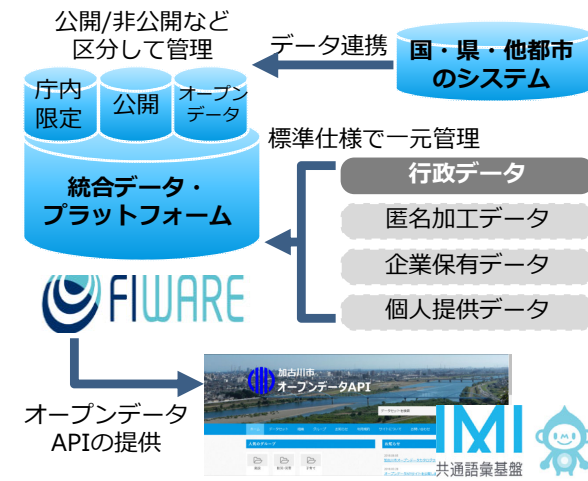
アセット層 (1層)

複数事業者によるBLE(Bluetooth Low Energy)タグの検知器の高密度な配置による精緻なデータ取得、高カバー率



プラットフォーム層 (2層)

FIWAREのデータ・プラットフォームの活用やオープンデータAPIの提供によるデータ流通の促進



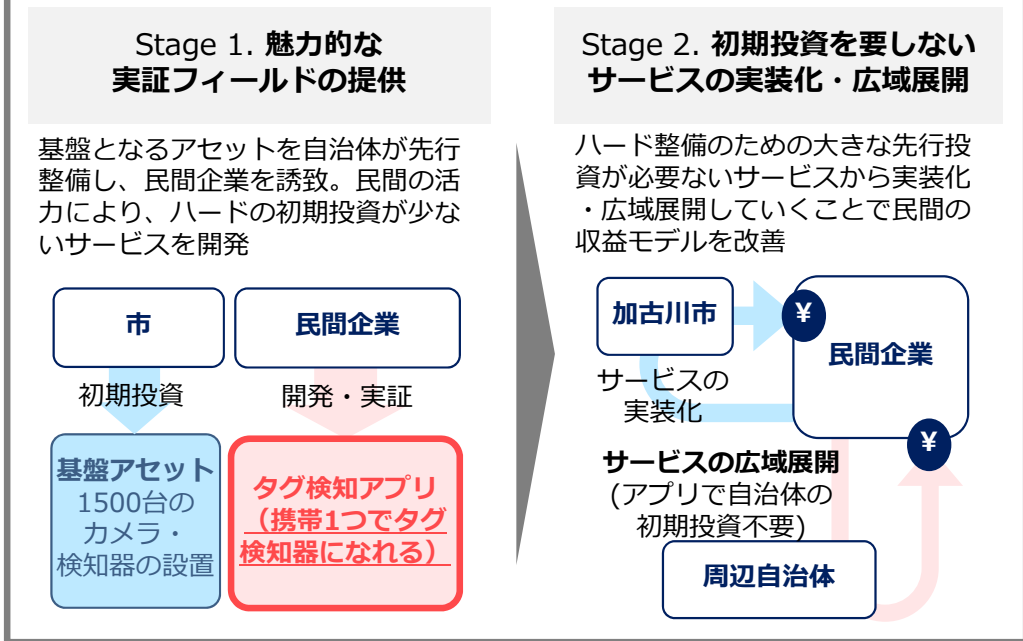
サービス層 (3層)

コミュニティアプリや行政情報ダッシュボードを通じた、市民のQOLや利便性の向上に資する多種多様なスマートサービスの展開



■ ビジネスモデル

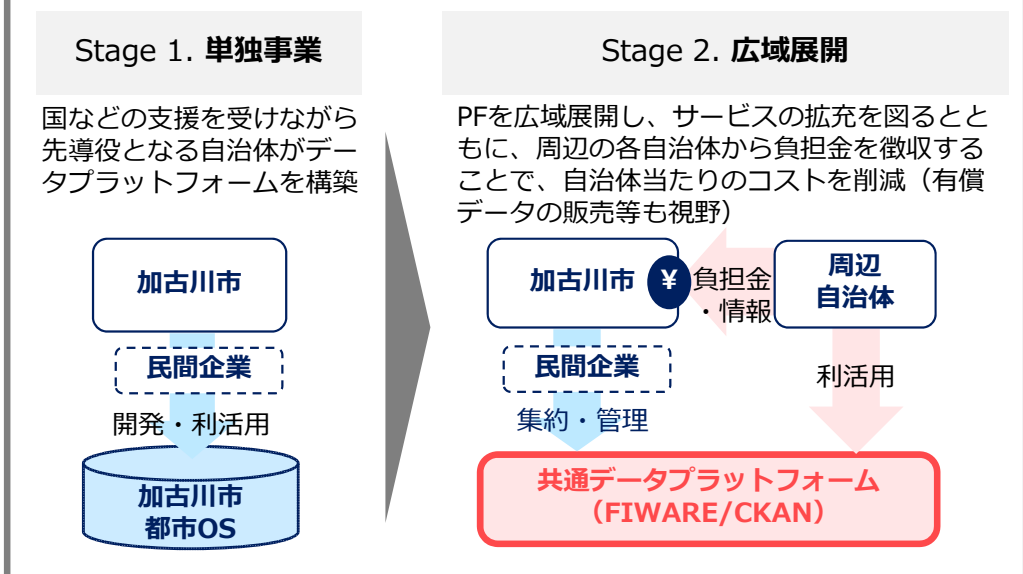
1. 広域見守りモデル：初期投資不要のサービスの広域展開



■ スケジュール

取組内容	2020	2021	2022	2023	中長期
3層 サービス層					
①行政情報ダッシュボード・コミュニティアプリによる情報提供	実装	➡	広域展開		
②地域ポイント制度	実装	➡	かがわアプリ連携		
③子ども・高齢者の見守りサービス	実装	継続			新たなサービスメニューの開発・実証など検討
③-1 次世代見守りサービスの展開～広域みまもりタグ検知アプリ～	実証	実証	拡大実証	実装	
③-2 次世代見守りサービスの展開～電動アシスト自転車による高齢者の見守り～	試行実証	実証	拡大実証	実装	
④保育士等の働き方改革・業務負荷の改善、快適な保育環境の提供	実証	実証	拡大実証	広域展開	
⑤国の浸水把握技術実証との連携	実証	拡大実証	実装	広域展開	
⑥災害情報伝達手段等の高度化、3D都市モデルの活用	開発	試行実証	拡大実証	実装	実証など検討
⑦遠隔環境での健康増進活動支援サービス	開発	実証	拡大実証	実装	
⑧高齢者における認知症の早期対応（MCI）	開発	実証	拡大実証	実装	
⑨3D都市モデルと人流センシングデータを活用した加古川駅前等の回遊状況検証	開発	試行実証	拡大実証	実装	
⑩ラストワンマイルの移動サービスの構築	開発	実証計画	無償実証	有償実証	
2層 プラットフォーム層					
⑪統合データプラットフォームの構築	実装		維持管理		
⑫オープンデータAPIの提供	実装		（広域化によるコスト低減）		
⑬周辺自治体との広域連携	調整	実証	拡大実証	実装	広域展開
1層 アセット層					
③見守りカメラ・タグ検知器の導入	実装	➡	広域展開		
③郵便車両等へのタグ検知器・カメラの搭載	実装				
③-2 電動アシスト自転車へのGPS・BLE受信機の搭載	試行実証	実証	拡大実証	実装	広域展開

2. 広域防災モデル：データPFの広域連携による財源確保



加古川市版スマートシティが目指す将来イメージ 夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川

ICTを活用しつつ市民生活の質を高め、市民満足度の向上を図りながら、市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」

【市民】 市民のQOLや利便性を向上するサービス

【まち】 都市機能の強化や都市課題の解決

【行政】 デジタル行政の推進

